



このように、学習院初等科は、私立学校として独特の歴史を歩んできました。

学習院初等科は、今年で145年目を迎えます。今までに、政界や財界をはじめとして、各界で活躍している卒業生を多数輩出しています。

東京には、明治10年（1877年）10月17日、神田錦町に開校し、華族の子どもたちを教育するためにつくられました。その後、明治17年に私立学校から官立学校（唯一の宮内省の学校）になり、戦後再び私立学校となりました。学習院初等科は、今年で145年目を迎えます。今までに、政界や財界をはじめとして、各界で活躍している卒業生を多数輩出しています。

学習院初等科の歴史



伝統を自らの礎とし 国際社会に貢献できる 人を育てる 学習院初等科



学習院初等科長
大澤 隆之

歴史と伝統に育まれた人間教育

学習院初等科では、戦前の教え「質実剛健」、戦後の教え「正直と思いやり」に代表される「自重互敬」を大切にしています。「正直」とは、自分にも他人にも誠実なこと、「思いやり」とは、相手の意見や立場を大切に考えることができます。

「質実剛健」は、「自重互敬」の精神を貫くのに大切な態度です。心も体も強くするため、自分を律する心、けじめをつける態度を育てています。

さて、それらの伝統を踏まえて作られたのが、初等科の

教育目標「真実を見分け、自分の考えを持つ子ども」です。細かいところまでよく観察し、その仕組みを知ろうとします。そして、自分の意見を持ちます。謙虚に人の考えを聞き、次第に自分の考えを固めていきます。

本校では、知識の獲得の仕方こそ大切だと考えています。いたずらに暗記させたり練習させたりするのではなく、じっくりと考えさせながら、疑問を持たせて自ら解決させ、知識を獲得させます。このようにして得られた知識は、生きた知識になります。生きた知識は、柔軟に活用できるのです。これこそが、「真実を見分け」の神髄である、本質を見抜く力となります。本校の「基礎基本」とは、本物

を知り本質を見抜く力なのです。

この学習を支えるのが学習院の教員です。全員が専門教科を持ち、研鑽を積んでいます。校内での研修だけでなく、学会や研修会に積極的に参加し、教科書や本の執筆をしたり研修講師を務めたりする教師も多いのが特徴です。

ICT活用と国際交流

本校では、1年生から6年生までの全児童にセルラー型タブレット端末を配付し、各教室の65型の大型テレビや各学年・特別教室の大型電子黒板を有効に使って授業を行っています。

ICT化は、本校で実施している学び合いによる協働学習に大いに貢献しており、短時間での意見の共有も可能になり、発展的な考察や議論もできるようになりました。

コロナ対策としてのZoomによるオンライン授業（令和3年度3週間）へも、スムーズに移行ができました。

また、英国、豪州への学校訪問やホームステイが休止となっている間、英国チェルトム・プレップの児童と初等科の6年生との文通や、英国の家庭へのオンライン・ホームステイ、豪州ザビエル校とのテレビ電話によるオンライン交流を行っています。文通は、6年生1人ひとりがチェルトムの児童と行っています。ザビエル校とは、5・6年生の国際委員が、クイズや折り紙を用いてテレビ電話で日本文化を紹介しました。

自重互敬とは ...

「自重互敬」とは、第18代安倍能成学習院長（1883～1966）が常に学習院生に教えてきた、「自分を大切にし、お互いを敬い思いやる」という精神です。自らの品性を保ち、お互いを敬うことを大切に代々続いてきた学習院初等科の教育の柱です。その精神は、初等科生活における指導の隅々にまで行きわたっています。教室のドアを開けてみれば、そこには自分の思いや考えを丁寧に語り、友だちの意見に心をこめて耳を傾ける子どもたちの瞳を見つけることができます。

また、何事も飾ることなく、本質に目を向けられる価値観を大切にしています。ふとした児童の会話や立ち居振る舞いからも、その一端を感じることができます。

令和5年度学校見学会

9/10(土) Web申し込み
詳細は初等科ホームページに掲載予定。

おいしくて 安全な学校給食

初等科では月1回のお弁当の日を除いて、児童は、3階の食堂で給食をいただいています。給食は、専任の調理師が、3階の厨房で旬の食材を使い調理しており、栄養のバランスがとれたもので、しかもおいしいと児童や父母にも好評を得ています。



給食の様子～1年食堂で～

危機管理・安全対策

防災対策で、緊急時や登下校時に保護者の方の携帯電話やPCへ一斉連絡ができる「わかば通信システム」を導入しています。感染症対策としては、手指消毒と手洗いの徹底、非接触型体温計の設置をはじめ、音楽室や食堂等へのアクリル板の設置などの対策を行いました。給食を食堂と教室とに分散する、父母会や運動会のライブ配信などの対策も行っています。



自動消毒液スタンド

生活指導上 特に留意していること

- 日常生活のしつけを重視して、自重互敬の精神を育てるようにしています。
- 毎月、月目標を教室に掲示して、月毎の生活指導に役立てています。
- 人に迷惑をかけず、人から受けた厚意に感謝し、正直で思いやりの心を持ち、それらが適切な言葉となり、行動となって実践できるように指導しています。
- 動植物の飼育・栽培・観察などによって豊かな心情を培うとともに、勤労の楽しさを体験しています。
- 広い校庭・近光園・愛育園・体育館・プール等を利用しての行事・運動・遊戯、また校外教育等によって、たくましい心と健やかな体の育成に努めています。
- 服装・所持品等は質実を旨とし、物を大切にする気持ちを育てることに留意しています。



深さが調節できるプールで
（1年水泳授業）



四谷キャンパス内にある近光園



〒160-0011 東京都新宿区若葉1-23-1
TEL 03-3355-2171(代) <https://www.gakushuin.ac.jp/prim/>